



十勝川治水100年  
トークリレー ①

1923年に十勝川の治水事業が始まって、今年で100年を迎えます。これまで十勝川治水事業に携わってきた先人たちの遺業に心から敬意を表しますとともに、今後とも、関係者の方々の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

十勝川は、18年に治水計画の大綱を確立したものの、22年8月に洪水が未曾有の被害をもたらしたため、これを契機に治水計画を改訂しました。その内容は、最も被害の著しく、かつ開拓の中心地域である「茂岩から西帯広」までの区間に堤防、新水路掘削、護岸工事を実施するものでし

## 十勝川治水100年記念事業

## トークリレー



帯広開発建設部 部長  
小林 幹男 氏



十勝毎日新聞  
令和5年1月27日 3面 掲載

### 帯広開発建設部部長 小林幹男氏



## 事業伸展で市街地発達

た。この壮大な治水計画を遂行するため、23年に十勝川治水事務所が開設され、本格的な十勝川の治水事業が始まりました。

その後、度重なる自然の猛威を受けながらも水を治めてきた先人たちの労苦の結晶により、十勝は、いまやわが

国における代表的な食糧供給基地として成長を遂げ、小麦、バレイシヨ、小豆などの畑作、酪農・畜産を中心とした大規模農業が営まれるとともに、これら加工する食料品製造業が盛んな地域となっており

ます。また、サケの増殖事業も行われており、沿岸域の漁

業も盛んです。

帯広市を中心とした帯広圏は、鉄道、道路などの交通網の整備や治水事業の伸展に伴い市街地が発達し、道東地域の社会・経済・文化の拠点となりました。温泉、自然環境、農村環境、川などを生かした体験・滞在型観光や環境教育も盛んです。

◆ 今年の治水100年を記念して、これまでの100年間の振り返るとともに、未来につながる記念事業を行ってまいりますので、よろしくお願

◆ 十勝川の治水事業は今年、100周年の節目を迎えた。治水事業とかかわりのある関係者の思いや将来に向けたメッセージを紹介する。